

在シドニー総領事通信

第 65 回 安倍元総理の逝去と 2 閣僚のシドニー来訪

令和 4 年（2022 年） 7 月 28 日



シドニー・オペラハウスに投影された日の丸（2022 年 7 月 10 日）

前回の総領事通信（6 月 24 日付）から、早くも 1 か月が経ってしまいました。その間、当館では大きな行事が相次ぎました。7 月 10 日の参議院選挙に向けて、6 月 23 日から 7 月 4 日まで週末も含めて在外公館投票が行われ、全館体制で取り組みました。参議院選挙直前の 7 月 8 日には安倍元総理が逝去され、7 月 11 日と 12 日に弔問記帳を受け付けました。その翌日の 7 月 13 日から 14 日まで萩生田経済産業大臣、15 日から 16 日まで金子総務大臣が相次いでシドニーを訪問されました。今回の総領事通信では、安倍元総理の逝去と両大臣のシドニー訪問を中心に報告させていただきます。



総領事館の弔問記帳台と献花（2022年7月11日）

●安倍元総理の逝去

7月8日の安倍元総理の銃撃事件は大きな衝撃でした。そして逝去の報とともに、各方面から弔意を伝えるメッセージが届き始めました。東京からは、弔問記帳を受け付けるよう指示があり、週末には領事メールやウェブサイト、口上書などで案内を出すとともに、当館での準備を整えました。

NSW州では、7月8日晩にペロテー州首相から弔意表明の[メッセージ](#)、9日にはシドニー・オペラハウスの紅白照明の[案内](#)があり、翌10日晩にシドニー・オペラハウスに日の丸が投影されました。私もロックスに行き、その写真を[Twitter](#)でお礼のメッセージとともに紹介したところ、2,500回以上のリツイート、1万2千回以上のいいねが付いたのみならず、[チャンネル9](#)でそのメッセージが報道され、反響の大きさを実感しました。

日本でも本件は広く報道され、岸田総理も7月20日の[経団連講演](#)で、「オーストラリアにおいては、オペラハウスを始めとする国内のランドマークを白と赤でライトアップする形で弔意を示」したことを紹介しています。



ファイルズ北部準州首席大臣 Facebook に掲載された安倍元総理との写真
(2022年7月8日掲載、2018年11月17日当時の写真)

当館には、ビーズリーNSW州総督、ハワード元首相、ターンブル元首相、コーツ国際オリンピック委員会副会長、ミラー元駐日大使や各国総領事など当地在住の要人が次々と弔問記帳に訪れ、安倍元総理との思い出や同総理の幅広い分野での実績に対する評価を伺いました。

更に、当地の在留邦人や豪州人も多数の皆様が弔問記帳のために来訪され、記帳台は献花で一杯になりました。

北部準州でも、オハロラン行政官からはパスパレー在ダーウィン名誉総領事への電話と自らの Facebook で弔意の[メッセージ](#)があり、ファイルズ首席大臣は2018年の安倍元総理のダーウィン訪問時の写真とともに弔意の[メッセージ](#)を自らの Facebook に掲載し、マニソン副首席大臣からは北部準州政府を代表して私に直接電話がありました。

このような当地を含む海外での弔意表明や高い評価も踏まえ、9月27日には安倍元総理の国葬儀が行われることが決定され、早速準備が始まっています。



シドニー・エネルギーフォーラムの開会式では、クアッド・エネルギー大臣会合（2022年7月13日）（写真：経済産業省）

●萩生田経済産業大臣のシドニー訪問

甲問記帳が終わった翌13日には、萩生田経済産業大臣が当初予定より1日遅れでシドニーを来訪し、クアッド・エネルギー大臣会合やシドニー・エネルギーフォーラムなどに出席しました。

12日朝のシドニー・エネルギーフォーラム開会式では冒頭で安倍元総理への甲意が表明され、私も日本政府代表として出席しました。引き続きアルバニー首相が基調講演を行い、豪州が再生エネルギーの超大国（renewable energy superpower）になる決意を表明しました。

萩生田大臣は13日朝に会場のフラートン・ホテルに到着し、本年5月に東京で開催されたクワッド首脳会合を受けて今般初めて開催されたクアッド・エネルギー大臣会合に出席し、クリーンエネルギー移行のための技術開発・普及の加速や、サプライチェーンの強靱化を通じたエネルギー安全保障の確保の重要性につき一致しました。



在豪日系企業との昼食意見交換会（2022年7月14日）（写真：経済産業省）

また、萩生田大臣はシドニー・エネルギーフォーラム昼食会のスピーチで、エネルギー安全保障の強化と脱炭素に向けた日本の取組などを紹介しつつ、世界全体のカーボンニュートラルを実現するためには、①各国の実情に応じた多様な道筋があること、②イノベーションを創出すること、③大排出国やアジア諸国を含め、世界全体で取組を進めることの3点が重要であると発信しました。

この日は米国、インド、インドネシアとのバイ会談も行い、夜には総領事公邸で山上大使と私から豪州事情についてご説明する機会もありました。

翌14日には、在豪日系企業との昼食意見交換会が行われました。出席した各社からは、当地での事業の現状・課題や要望について説明があり、同席した私にもフォローアップするよう指示がありました。日豪ビジネス関係の更なる発展に向けて、取組を進めていきたいと思っております。



金子総務大臣とローランド通信大臣の会談（2022年7月15日）
（写真：総務省）

●金子総務大臣のシドニー訪問

翌日の7月15日朝には、金子総務大臣がシドニーに到着しました。シンガポール訪問後、豪州はメルボルンでオニール内務大臣と会談し、キャンベラでアボット元首相の勲章授賞式に臨席した後の来訪です。

金子大臣は同日午後に[ローランド通信大臣と会談](#)し、5Gの利活用、衛星通信等の分野やITU（国際電気通信連合）での協力について意見交換が行った後、[共同声明](#)に署名しました。この共同声明により、日豪関係省庁による定期的な局長級会合「日豪テレコミュニケーション強靱化政策対話」が新たに設置されました。

同日晩には総領事公邸で、情報通信やスマートインフラ分野での日豪協力について、私から金子大臣にご説明する機会をいただきました。



金子総務大臣のシドニー工科大学訪問（2022年7月16日）（写真：総務省）

翌16日午前、金子大臣はシドニー中央駅周辺のハイテク開発地区「[テックセントラル](#)」を視察しました。最初にスケールアップ・ハブで全般説明を受けた後、豪州初のユニコーン企業[アトラシアン](#)の本部ビル（[Atlassian Central](#)）建設予定地を訪れました。同ビルは木造高層建築など最先端のゼロエミッション技術を導入予定で、その取組に[参画](#)している大林組の責任者にもお会いしました。

更に、[シドニー工科大学（UTS）](#)を訪問し、パーフィット学長の案内でIoT（モノのインターネット）デバイスの開発や3Dプリンターの産業活用の最新状況を視察した他、NTTオーストラリアの永谷明史GMからもUTSとNTTの連携協力についても説明を受けました。UTSとNTTは昨年11月に[協力覚書（MoU）](#)を締結しています。また、同日午後には、日系企業との意見交換会も行いました。

今回、私が2年半前に着任してから初めてシドニーに日本の閣僚が訪問しました。コロナ規制の緩和により、今後は要人が相次いで来訪するでしょう。ここシドニーで、あらゆる分野の日豪協力の深化に取り組んでいきたいと思っております。

在シドニー日本国総領事 紀谷昌彦